

令和元年度

烏山北小学校 校内研究

6年分科会 提案授業

教科：社会

5月22日（水）

授業者：澤田 英一

1 研究主題

(1) 研究主題

「世田谷9年教育」研究開発 CM（カリキュラム・マネジメント）スクール

これからの社会を生き抜く児童の育成
～深い学び、充実した働き方の改善を通して～

(2) 目指す児童像

	主体的な力	かかわる力	考える力
低学年			
中学年			
高学年	自らすすんで学び、生活に生かそうとする子。	相手の話を最後まで聞き、友達のよさを認め合う子。	友達の意見を取り入れ、考えを深める子。

2 協議会で話し合うこと（本時、日々の実践も含む）

- (1) カリマネの効果。
- (2) 主体的な学びに向けて、子供をひきつける工夫。

《画用紙》 分科会で話し合いながら書き、ホワイトボードへ！ 青：成果／黄色：質問／ピンク：

「貴族の暮らし」 (2時間)

1 小単元の目標と評価

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料を活用して、貴族の生活や文化について調べる。</p> <p>日本風の文化が生まれたことを理解できるようにする。</p>	<p>京都に都が置かれた頃の文化の特色を考える。</p>	<p>貴族の生活や文化について、学習問題を主体的に調べ解決しようとする態度とともに、我が国の歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意味を考えようとする態度や我が国の歴史や伝統を大切にしてい国を愛する心情を養う。</p>

2 小単元について

- ・小学校学習指導要領解説社会編第6学年の目標 [P97~100] 及び内容 (2) ア (ウ) [P106~113] を受けて設定。
- ・2時間で「つかむ→調べ・考える→まとめる」を行う設定である。
- ・1時で貴族らの文化を調べ、2時 (本時) では、文化の特色を考え、文章で記述したり説明したりする。記述のために、ペアの交流や書き方の提示などの工夫をする。

3 カリマネ Point (カリマネ的烏北プラン参照)

縦 カリ	既習	<p>①第4学年 (4) 「県内の伝統や文化、先人の働き」 *今年の6年児童は、3年生で学習 (移行の関係で)</p> <p>②第4学年 (5) 「県内の特色ある地域の様子 (伝統的な文化を保護・活用している地域)」 *事例地「浅草」の学習をしている。</p>
	同学年	①第6学年 (2) 「我が国の歴史上の主な事象 (室町文化、新しい文化と学問)
	異校種	①歴史的分野「A歴史との対話、B近世までの日本とアジア、C近現代の日本と世界」
横 カリ	総合	日光ふしぎ発見!
	国語	日本語の歴史
	日本語	
	特別	
	活動	
	道徳	(*令和2年度版教科書から作成する)
その他	音楽：日本の音楽に親しもう (雅楽)	

4 指導計画

第1時：貴族の暮らしから生まれた文化を調べる。

第2時：貴族の暮らしから生まれた文化が、どのような文化なのかをまとめる。

5 一単位時間の指導 **第1時** (全2時間)

(1) ねらい

- ・ 貴族の暮らしから生まれた文化を調べる。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料（種類）
つかむ	① 10分	<p>【個人】→【全体】</p> <p>○絵「貴族の屋しき」を見て、分かったこと、気が付いたこと、思ったことを箇条書きにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴族が遊んでいる。 ・ 屋しきは大きい。 ・ へいの外の人と服装がちがう。 	<p>★多様な視点で考えることができるように、様々な意見を認める。</p> <p>■教科書 P32 貴族の屋しき（想像図）（絵）</p>
		<p>学習問題 貴族の暮らしから、どのような文化が生まれたのだろう。</p>	
調べ・考える	② 30分	<p>【個人】→【全体】</p> <p>○平安時代に誰が何をしたのかを調べる。</p> <p><貴族></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌 ・ 七草がゆ ・ 囲碁 ・ たたみ ・ 大和絵 ・ ひらがな <p><藤原氏（奥州藤原氏）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平等院鳳凰堂（世界遺産） ・ 中尊寺、毛越寺（国宝） <p><紫式部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 源氏物語 <p><清少納言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 枕草子 <p>○調べたことを発表する。</p>	<p>■教科書・資料集（文章、図解）</p> <p>★ノートに、「誰が何をしたのか、またどんな特色があるのか」という書き方で書かせる。</p> <p>★早く書いた児童は、調べたことを短冊に意見を書かせ黒板に掲示し、書いていない子の参考にさせる。</p> <p>★発表させながら、「どんな特色があるのか」を確認していく。初めて知るものなどは、予想させるなどして思考を深めていく。</p>
	③ 5分	<p>【個人】→【全体】</p> <p>○生まれた文化について、感じたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌 →映画や漫画にもなるくらい、現代にも残っているところが素晴らしい。 ・ たたみ →今も多くの家庭で使われている。 ・ 平等院鳳凰堂→世界遺産に登録される価値がある。 ・ 枕草子 →日本語の教科書に載っているのは、美しい文章だから。 	<p>★調べた事象に対する、優れた点や感想などを書く。</p>

第2時 (全2時間) 本時

(1) ねらい

- ・ 貴族の暮らしから生まれた文化が、どのような文化といえるかを考える。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類)
まとめる	① 5分	<p>○前時をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴族は、和歌を詠んでいた。 ・ 藤原氏は、平等院鳳凰堂を建てた。 ・ 紫式部は、源氏物語を書いた。 ・ 清少納言は、枕草子を書いた。 	<p>■写真資料(前時に調べた文化)</p>
	<p>学習問題 貴族の暮らしから、どのような文化が生まれたのだろう。</p>		
	② 35分	<p>【個人】→【ペア】→【全体】</p> <p>○貴族の暮らしから生まれた文化は、どのような文化だといえるか、「～文化」でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性が活躍した文化 ・ 今も残る文化 <p>○自分が考えた「～文化」の根拠をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は「今も残る文化」だと考えた。 なぜなら、和歌やひらがななど、今も生活に残るものばかりだからだ。これらは、私たちの生活を豊かにしてくれている。 ・ 私は「女性が活躍した文化」だと考えた。 なぜなら、紫式部や清少納言が、源氏物語や枕草子を書いたから。これらは、日本語の教科書にも載っているが、文章が美しい。 ・ 私は「現代に近い文化」だと考えた。 なぜなら、前の時代は大陸の文化と似ていたが、平安時代は、日本らしい文化だからだ。 <p>○意見を発表する。</p>	<p>★前時に調べたことをもとにして、「～文化」という書き方で、まとめさせる。教科書に書かれている、国風文化や日本風の文化などの表現でもよい。多様な意見を出させるために、個性的な言葉を勧める。</p> <p>★早く書いた児童は、調べたことを短冊に「～文化」を書かせ黒板に掲示し、書いていない子の参考にさせる。</p> <p>★「～文化」と考えた理由を書かせる。事実に対する児童の意見を書く活動であるため、やや難易度が高いと考える。そのため、例示したり、個別に指導したりする。</p> <p>★前時に調べたことを基に考えさせる。</p> <p>★他の意見を聞き、ノートにメモを取りながら考えを深めさせる。</p>
③ 5分	<p>【個人】</p> <p>○全体の意見をふまえ、「日本風の文化が生まれたといえる」ことを理解する。</p>	<p>★児童から出た意見をもとに、前の時代との比較をしたり、共通点を取り上げながら、「日本風の文化」というキーワードでまとめる。</p>	

(3) 板書計画

5/22 貴族の暮らし②

ねらい
平安時代の文化は、どのような文化といえるのだろう。

調べたこと

貴族の様子

紫式部

平等院鳳凰堂

大和絵

文化

今も残る文化

現代に近い文化

女性が活躍した文化

日本独特な文化

現代に近い文化

平和な文化

<理由>

～文化
なぜなら、～だからだ。
教科書には、～と書いてあった。
このことから、～と考えた。

まとめ
大陸の文化を学んだ
↓
日本風の文化をつくった